



ごあいさつ

下野市農業委員長

高田 憲一

桜花の候、皆様方におかれましては、お変わりなくご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃より本市農業委員会活動に深いご理解とご協力を賜り、委員会一同厚く感謝申し上げますとともに、本年2月の記録的な大雪によりハウスの倒壊等農業被害を受けた皆様には、心からお見舞い申し上げます。

昨年の中東太平洋連携協定（TPP）への参加に伴い、中間管理機構による農地の集積、耕作放棄地対策の強化、また農業の競争力強化に向け、2018年度には「コメの生産調整（減反）」を廃止するという政府方針も出され、これからの農業の先行きに不安が広がっています。特にTPPに参加することにより関税が撤廃され、農業が打撃を受け、自給率の低下や食の安全などが脅かされるのではないかと不安も強くあります。

このように近年、農業を取り巻く環境は一層厳しさを増し、かつて経験したことのない大きな転換期にあります。農業の競争力強化のため、農地集積を図り、農地を有効に活用していくには、地域の農地に責任を持つ農業委員会の役割が今以上に大きくなっていくものと思っています。

今後とも、農業委員会が「丸」となり地域と農業の活性化に向けた活動を、より一層進めていきたいと考えていますので、皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。



## 第2回農業委員会研修会が 開催されました

昨年11月9日栃木県教育会館大ホールにおいて平成25年度第2回農業委員研修会が、県内約650名の委員出席のもと開催されました。

研修会では、西川公也衆議院議員から現在のTPP交渉の現状、今後の農業政策について具体的な数字を織り交ぜながらの講演がありました。農業を取り巻く世界情勢や農業の今後に求められている課題とその対応についての話は大変参考になりました。続いて「佐野市から発信～農委活動の取り組み～」と題して、佐野市農業委員長 桂正次氏から佐野市農業委員会の活動についての講演がありました。各部会の活動内容等参考になる貴重な話を聞くことができました。

## 農業者懇談会 開催される



下野市農業者懇談会が、2月19日国分寺公民館大ホールにおいて農業委員、認定農業者など50名余りが参加して行われました。

懇談会では、初めに関東農政局の倉持管理官から「新たな農業施策について」と題して講演がありました。続いて行われた意見交換会では、中間管理機構での農地集積についての提案、また水田活用の直接支払交付金についてや個別補償対策について、農地水の事務処理について等の意見や要望が出されました。今回出された意見・要望については、国に持ち帰り施策に反映されるよう進めていきたいとのことです。